

第2回 大阪府市都市魅力戦略推進会議議事概要

1 開催日時

平成24年12月14日(金) 11:00~12:15

2 場所

大阪市公館

3 出席者

橋爪特別顧問、池末特別参与、嘉名特別参与、橋本特別参与
大阪商工会議所 吉田地域振興部長、関西経済同友会 松尾事務局次長兼企画調査部長、
関西経済連合会 佐野地域連携部次長

4 議事概要

1) 大阪の国際化戦略(素案)

【事務局より説明】

主な意見

(嘉名特別参与)

【戦略目標】

- ・ 施策取組の内容と戦略の到達点が乖離していると戦略自体にリアリティが無くなってしまいますので、戦略目標については、質・量の議論を含めて突っ込んだ形で設定をしてもらいたい。

(橋本特別参与)

【海外で活躍する人材の把握】

- ・ 日本学生支援機構の留学生の指標は学部生だけであるが、大学院生や研究者など大阪で育った知的な人間が外国にたくさんいるので、そういう人のネットワークをつくるのが大事。

【国との関係について】

- ・ 外交方針に「国家外交と別に」とあるが、国家外交とどういった関係をつくるのかを考えるべき。

(池末特別参与)

【戦略指標について】

- ・ 戦略指標については、有りものに限らず、こういったものがわかると戦略の結果が分かるという指標を例えば10個くらい考えてほしい。

【海外都市との関係について】

- ・ 今後、大阪として他の地域と比べて強く関係を持ちたい、アジア外も含め、少なくとも外国公館やビジネスパートナーを持っている場所との関係について、選択と集中の基本案を考えてほしい。

【国との連携、情報一元化】

- ・ 国の情報も含めて、大阪の中で海外展開の情報を一つにまとめていただきたい。組織的に可能であれば、首相官邸の国際広報室のカウンターパートに当たる窓口の設置について府市で話をしてもらえ

ば。

(橋爪特別顧問)

【外交方針の建付け】

- ・ 国際戦略は部局横断の横串のコンセプト・目標方針を書いているが、外交方針だけ特出しにしている点、外交方針が上位なのか、横串の部分の外交部分だけを上に書いているのか、国際化戦略の中での外交方針の建付けが見えないので、そこを気にすべき。外交方針の置き方がここでいいのか。

【外交方針におけるアジア以外の位置付け】

- ・ 普遍的に欧米との交流は必要。外交方針の中で読めないことは無いが、アジア以外との関係性をもう少し丁寧に書いたほうがよい。

【施策・取組について】

- ・ 国際交流・外交について、きわめて短期間で施策を打つ、機を見て敏感に政策を打つというところが戦略上あまり見えないので、どこにどう盛り込むかということではなく、そのことをマインドとして持ってもらいたい。